資料１－２

第８次青森県保健医療計画（へき地医療対策）の進捗状況

番号	項目	現状値の出典	策定時（時点）	現状値（時点）	目標値	進捗状況	令和７年度の主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性（取組方法の修正等）
A1	へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	現況調査から	**11.23** 人 (R4年度)	**20.18** 人 (R7年度)	**現状維持**	変化なし（目標達成）	・計画策定時点の医師数については13診療所、現状値については15診療所のため医師数が増加。	・へき地医療を行う医師の継続的な確保が必要。 ・ほとんどのへき地診療所が一人診療所のため代診医派遣等の支援の継続が必要。	・へき地診療所の医師の確保や医師派遣を行う。 ・今後も必要な代診医派遣等を継続的に実施する。
A2	へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	現況調査から	**23.88** 人 (R4年度)	**18.56** 人 (R7年度)	**現状維持**	変化なし（目標達成）	・計画策定時点の医師数については７病院、現状値については６病院のため医師数が減少。	・へき地医療を行う医師の継続的な確保が必要。	・へき地医療拠点病院の医師の確保や医師派遣を行う。
A3	へき地医療拠点病院からの巡回診療の実施回数	青森県医療薬務課調べ	**117** 回/年 (R4年度)	**91** 回/年 (R7年度)	**現状維持**	変化なし（目標達成）	・地域のニーズに合わせた必要な巡回診療を実施し、地域住民の医療提供体制を維持した。 参考　R4年度　：293人 R7年度　：354人	・巡回診療を行う医師の確保。	・ニーズそのものが減少している側面もあると見られ、ニーズの実態を把握した上で、今後の取組の方向性を再検討していく必要がある。
A4	へき地医療拠点病院からの医師派遣回数	青森県医療薬務課調べ	**119** 回/年 (R4年度)	**104** 回/年 (R7年度)	**現状維持**	変化なし（目標達成）	・必要な医師派遣を実施し、地域住民の医療提供体制を維持した。	・医師派遣を行う医師の確保。	・ニーズそのものが減少している側面もあると見られ、ニーズの実態を把握した上で、今後の取組の方向性を再検討していく必要がある。
A5	主要３事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で12回以上のへき地医療拠点病院の割合	青森県医療薬務課調べ	**71.4** % (R4年度)	**100** % (R7年度)	**100** %	改善（目標達成）	・主要３事業を実施し、地域住民の医療提供体制を維持した。	・引き続き主要３事業を実施していく必要がある。	・継続的な実施に向け、実施方法について随時検討を行う。

	番号	項目	現状値の出典	策定時（時点）	現状値（時点）	目標値	進捗状況	令和７年度の主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性（取組方法の修正等）
	A6	ＩＣＴによる診療支援を実施したへき地医療拠点病院の割合	青森県医療薬務課調べ	**16.67** % (R4年度)	**83.33** % (R7年度)	**100** %	改善（目標未達成）	・各医療機関へＩＣＴの活用について状況確認及び情報提供を行った。 ・へき地医療拠点病院（県病）とへき地診療所（小泊診療所、深浦診療所）が連携してオンライン診療を行うための設備や、ＩＣＴを活用した車両の整備（東通村診療所）を補助した。 ・へき地医療拠点病院（三戸中央病院）で人工透析管理について弘前大学医学部附属病院の専門医からオンラインでカンファレンスを受ける遠隔診療システムの導入を支援した。	・へき地診療所におけるＩＣＴ活用が進んでいない。 ・へき地診療所では医師の高齢化が進み後任の確保が難しい。	・市町村や医療機関がＩＣＴ導入について専門家にアドバイスをもらえるような仕組みを検討する。 ・へき地診療所にもＩＣＴ活用を呼びかけていくとともに、複数の市町村や医療機関の連携を推進する。
	A7	へき地患者輸送事業の実施無医地区等数	青森県医療薬務課調べ	**18** か所 (R3年度)	**19** か所 (R7年度)	**現状維持**	変化なし（目標達成）	・無医地区等の患者の輸送を行い医療提供体制を確保した。	・患者数の減少に伴う輸送の効率化。	・輸送効率の向上のため、輸送の回数等について随時検討する必要がある。
	B１	へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	現況調査から	**11.23** 人 (R4年度)	**20.18** 人 (R7年度)	**現状維持**	変化なし（目標達成）	A1と同じ	A1と同じ	・へき地診療所の医師の確保や医師派遣を行う。 ・今後も必要な代診派医遣等を継続的に実施する。
	B２	へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	現況調査から	**23.88** 人 (R4年度)	**18.56** 人 (R7年度)	**現状維持**	変化なし（目標達成）	A2と同じ	A2と同じ	・へき地医療拠点病院の医師の確保や医師派遣を行う。
	C１	医療を受けられる機会が確保されている無医地区等の割合（医療薬務課調べ）	青森県医療薬務課調べ	**100** % (R5年度)	**100** % (R7年度)	**100** %	変化なし（目標達成）	・無医地区等の住民が医療を受けられる機会を確保している。	・継続的な確保が必要。	・無医地区等の住民が医療を受けられる機会を確保する。

第８次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（へき地医療対策）

アウトプット（施策）（Ａ）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
	医療を確保する体制			
A1	へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	11.23 人	20.18 人	現状維持
A2	へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	23.88 人	18.56 人	現状維持

番号	項目	策定時	現状値	目標値
	診療を支援する体制			
A3	へき地医療拠点病院からの巡回診療の実施回数	117 回/年	91 回/年	現状維持
A4	へき地医療拠点病院からの医師派遣回数	119 回/年	104 回/年	現状維持
A5	主要３事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で12回以上のへき地医療拠点病院の割合	71.4 %	100 %	100 %
A6	ＩＣＴによる診療支援を実施したへき地医療拠点病院の割合	16.67 %	83.33 %	100 %
A7	へき地患者輸送事業の実施無医地区等数	18 か所	19 か所	現状維持

初期アウトカム（Ｂ）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
	医療を確保する体制			
B1	へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	11.23 人	20.18 人	現状維持
B2	へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	23.88 人	18.56 人	現状維持

分野アウトカム（Ｃ）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
	へき地医療提供体制の確保			
C1	医療を受けられる機会が確保されている無医地区等の割合（医療薬務課調べ）	100 %	100 %	100 %

改善・変化なし（目標達成）

改善（目標未達成）

悪化・変化なし（目標未達成）

評価困難（※）

※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等

（概要説明）

〇限られた医療資源で、より効果的に地域の医療ニーズに応えられるよう、これまでの取組を可能な限り継続していくとともに、ＩＣＴを活用した遠隔医療の実施など、関係機関が連携し、地域の実情に合った持続可能な医療体制を構築する。